

● 一 特集Ⅱ

從軍慰安婦問題

補償を求め提訴へ

日本に7億円補償要求

人道的責任を追及

軍人や軍属含む35人

旧日本軍の従軍（軍虜）慰安婦だった韓国入女性や徴兵、徴用され軍人、軍医として被害を受けた韓国人やその遺族計三十五人が六日、日本政府を相手とり一人一億二千万円、総額七億円の補償を求める訴えを東京地裁に起こした。戦後補償をめぐっては今年十一月に元日本軍医の韓国・朝鮮人が亡く戦犯とその遺族らが補償を求めて起こした裁判などがあるが、元従軍慰安婦の原告は初めて、原告側は、日本による朝鮮半島の侵略と植民地化、さらに戦後も何の補償もせず放置していることは国際法上の「人道に対する罪」と追及、日本の責任を真正面から問う構えだ。

（関連記事社会面に）

(問神聖事社会面に)

訴えたのは、韓国の戦争
 被害者と遺族でつくる大平
 大会長。の会曰で、ソウル

市河路区の金学順さん（べり
さん）ら五従軍慰安婦三人と
同市冠居区の朴七封さん
（べり）元日本人、軍医十
六人、その十六人の計

ニアで、日さんべちも敗戦までの四年間を中国上海で、それぞれ日本兵の相手をおこなわれた。

また、林さんらは軍人、

やり役兵、徴用した行為や若い女性を従軍慰安婦として連行したことは明らかに、人間に対する罪として、正面から日本の戦争責任を

46

大東洋戦争中の朝鮮人慰安婦問題。戦争中、朝鮮半島から日本軍にかりだされた女性たちの悲劇に、責任を問う動きが高まっている。この六日には、元慰安婦三人を含む韓国の「大東洋戦争犠牲者追悼会」が日本政府の謝罪と補償を求めて東京地裁に提訴、慰安婦問題が初めて決着を待たされることになった。さきさき、来日した「韓国挺身隊問題対策協議会」共同代表の尹貞玉さんに聞いた。

（学芸部・安藤英彦子）



元梨花女子大教授（英文学）＝00年1月・ハンギョレ新聞に慰安婦問題の調査記事を掲載。同日月曜日の「韓国挺身隊問題対策協議会」共同代表に。ソウル市在住、66歳。

韓国挺身隊問題対策協議の代表 尹貞玉さんに聞く

慰安婦問題とは、韓国では一般に「挺身隊問題」と呼ばれている。

「私たちにとっては、挺身隊が朝鮮人慰安婦なんです。戦争中、女子挺身隊の名で徴用された女性たちの多くが、慰安婦にされたのですから」

一九四四年、尹さんは朝鮮女子専門学校の一年生だった。朝鮮半島の各地で、むかしらしい出来事が起こっていた。

「地方では、軍人と露骨に付合人を先に立てて、貧しい小作人の家を回り、日本軍の炊事婦や看護婦と偽って若い娘たちを強めていました。戦線拡大につれ、丁頭や井戸端や田畑や道で、十四歳の少女から三十歳くらいの母親まで、取られるようにして軍用トラックで連れ去った。戦場に送られ、慰安婦として売春を強要された女性の数は十、二十も二十万人と……」

従軍慰安婦問題は 過去のことではない

朝を明らかにするのが生きている私の仕事だと仰うのです。北朝鮮、中国、タイ、ラバウや韓国で学生も、国民運動員も

必ず慰安婦が送られてきたそうです。敗戦後は軍に連れ戻されたり買取りにされたたり。ほとんどが行方不明のままだです。神妙で、つとめあてた元慰安婦のハルモニ（おばあさん）は過去を語りながら人間不信になつていて、口で知れど手振りをすると泣きだした。この人も十月、故郷の土を踏むこともなく亡くなった。一人暮らしのアパートで、死後数日たつて見つかりました……」

昨年、日本政府は従軍慰安婦問題についての国会質問に「因は因らず、民間の被害が用と共に忘れぬ」という状態で、調査も出来ず、謝罪も出来ず、

「それがそれを許します。日本の国と領土の両方は、さきりしてあります。たとえば、慰安婦の戦時強制労働被害（第二出版）という本で、日本の強制労働はこう書いています。『軍用特殊慰安所ハ支那ノ陽明山ニ建設シテ衛生ナル共同寮所ナル故……』（戦地へ送り込まれた朝鮮人慰安婦の証言）

「戦地へ送り込まれた朝鮮人慰安婦の証言。花柳病ノ烙印ヲオサレシ、アブズレシ、ノ類ハ故ヘテ一ツリ向ヘタシ、此レ南朝鮮兵ヘノ贈リ物トシテ、真ニ朝鮮ハシキ物ナレバナリ」と。当時の若い朝鮮人女性

が人間地獄の半端な目にされたんです。その時、たしをされた慰安婦の証言も出版されている。元慰安婦だった人も日本政府の発表に怒り、生きた人にも名をのべている。反省も謝罪もしない日本政府の態度は決して

「生き残りはしたけれど、韓国がかわるまで慰安婦に謝罪した人たちはいるはず。強制された被害者でも、女の恥、村の恥、辱とする性被害がありましから。しかし韓国政府のくびきを負って犠牲になった朝鮮人慰安婦こそ、民族の主人公なので。正しい立場で歴史に立たせなくてはなりません」

協議会が日韓両国の政府に犠牲者を追悼する碑の建立を求めている。

「日本国内には、謝罪を反省し、謝罪し、再び非人道的な行為を繰り返さないために、国民が歴史を記憶する記念碑を、韓国内には、慰安婦だった人々に民族の歴史の主人公として光を照らす、私たちの道義の気持ちを表す碑を、こちらは日本人とはかわりなく、韓国女性の力で実現させたい」

戦争に行かなかったから、戦後生活は楽だったから――慰安婦問題は自分とは無関係と扱う日本人に、ぜひ伝えたいことがあると尹さんはいう。

「自分の存在を歴史の流れ、時間と空間の広がりの中でとらえてほしい。そうすれば、慰安婦問題は分かるとなる。日本国内にも慰安婦問題はあり、その一つは戦時体制では保身運動が起こっているのですから、過去を認めない国は過去を繰り返す恐れがある。そんな政府を持つべきで、責任は日本人全権にあることになります」

毎日12・9号

元従軍慰安婦らの補償請求 政府否定に韓国側反発

「ソウル6日中村純隆」 政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

政府の関与を改めて否定し、大東洋戦争中、日本軍の従軍慰安婦に女子挺身（てい）軍慰安婦に女子挺身（てい）身隊員などに取上げられた韓国人とその遺族らが六日、日本政府を相手取って起こした補償請求訴訟について、加藤官房長官が日本

今日十三日の国会外務統一委員会が初めて従軍慰安婦問題を取り上げる補償請求（与党議員案）も「下」イッや米国の外務省の戦争被害者個人への責任を明確にした、日本もPKOなど世界への貢献を認める前に、人権問題を片付けるべきだ」と加藤発言に疑問を向け

た。

一方、六日の韓国内の報道は、要合通が解散して今回の訴訟は、価値の念、などの外交辞令で適当に済ませる日本への反人道的対応を断罪するもの、と強調

七日付朝刊（京版）もそろって抗議の白い服を着た身元を隠した元従軍慰安婦金学順さん（82）の写真を大きく掲載し「日本政府が被害者日本人関係者の証言を無視」（いすれも朝鮮日報）と大見出しで批判した。

西日本12・7

「慰安婦に政府関与せず」
韓国民主党が批判

「ソウル7日山下正晴」 韓国の野党・民主党（金大中、李基俊代表）のスローガンは七日、加藤官房長官が戦時中の従軍慰安婦問題について「政府機関が関与したとの資料は見つからなかった」と発言したとの報道に対して「日本政府の責任回避に憤怒を禁じえない」との非難声明を発表した。韓国の「朝鮮日報」も「政府として対峙するのは困難だ」と発言したと伝えている。

毎日12・7号

毎日12・7号

毎日12・7号

「心配した両親は私を追学させ、私は難を逃れました。でも同窓生の中には既身獄にとられ、餓らない人も……。この国が上校したとき、戦術表のように

家康氏の改正から性質防止所制への経緯へと女性運動が盛り上がる為国から来日した女性性学者協会代表の金子清江さんによる現状を聞いた。四月の月であるとともに運動のリーダーの一人として活躍する金子さんは、一つ一つ聞いてながら筆を動か取っています。という。その力はどこにあるのだろうか。

アが生まれ、八〇年代後半には、民主化運動の中で、冒険の女性団体協議会に対して、こうした在野の女性性団体の明白体として韓国女性性団体明白が構成されたのです。

出す性質が注目を集めた。これで、多くの女性団体が結成したのである。その後、この女性団体連合が取り組んだ運動の大きな成果として、同一労働同一賃金、男女雇用平等法さらには昨年実現した家族法改正があります。

国で、初めて自主の選挙権
 や婚姻自由の承認など、現調
 が女性にも認められ、婚外
 子の入籍に妻の同意が必要
 となり直した。

一方、私が所属する会派
 の代表として、昨年まで加
 わっていた賛成女性連合会
 が、八八年に「女性と親光
 文化」というテーマで国際
 セミナールを開き直した。可
 見親光の実態調査をもと

に、女の性を商品化する文化をどう変えていくかというテーマでしたが、そこで、ギンセン眼光は新しい形の女子組曲隊だ、という理想が出たのです。それが、戦中、組曲隊として強制連行された陸軍慰安婦の周りが刷り込まれるきっかけになりました。

女の自衛を重んじる忠義の社会理念の強い韓国

で、五郎中堅安福の女性たち
がようやく重い口を開き
始めた。それは大きな変化
です。また、これは女の体
を道具として利用する男
らの問題という意識で、日
本にも共通する女性問題だ
と思います。

発売12・17大版

今年十月十五日から三日間、ソウルで、南北女性討論会が開かれ、私も参加しました。そこで南の代表が発表したのは「家父長制文化の克服」でした。「朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）では平等は達成され、女性は無敵化されている」といいます。確かに歴史的には北は勝んでいるかも知れない。でも家庭や職場では、やはり女の仕事の負担があるのではないかと、私たちはそう思った。生活の中の二つの問題について、闘いながら平等を闘って、いっしょにがんばります。その一つとして、韓国ではいくつかの女性団体が性別暴力防止法制定を国会に請願中で、また、民主安福閣が社会的関心を高めるようになったのも、女性運動の力です。

一九七〇年代から欧米のフェミニズムが若いインテリ女性の間で浸透し、二万、労働運動の中で、女性たちが個別に気づき、独白に感動を始めた。

さきとさならの眼グルー

朝鮮
朝鮮人従軍慰安婦
えん会(大阪、林美
ク・ミジンジャリ代
の「朝鮮人従軍慰安
資料集」が脱罪して
一年八月の第一刷以
前が日本文学、為

問題をも
「慰安婦」とし
て、作
成
生
証
に
対
す
る
こ
と
に
対
す
る
本
に
求
め
て
、
長
い
沈
黙
を
破
り
出
て
こ
う
す
る。

て働かされた事
されつつある。
馬をおわされた
罪と償いを口
事者の女性が
て灰柱に立ち

授(強
者鈴木
録のは
道、関
戦、関
とさせ

4 2000

たい

続々と

と日本女性史研究
の二人の講演
九一年中の新聞報
論文の抜粋などを掲
の所在をはっきり
いく構成だ。

の旧・柳本飛田場にあつた安所のことを調べた会館橋などが収録される。

ななごころくきあ　　ういた■



資料集に入手希望続々と

朝鮮人従軍慰安婦問題をめぐって、朴正煥（大韓、朴正煥）元大統領の「朝鮮人従軍慰安婦問題資料集」が読まれている。九一年八月の第一刷以降、入手希望が相次ぎ、発行部数はのべ三千部に達した。

「慰安婦」として働かされた
 実が明らかになれつつある
 生計にえんない恥をおわされ
 ことに對する謝罪と償いを
 本に求めて、当事者の女性
 長い沈黙を破つて法廷に立
 始めている。

資料集録、九一年五月、二
 ウルで行われた「挺身隊問題
 対策協議会」主催の会にお
 る同会代表の伊良玉リユン
 ジュンオク「朝鮮花女子大衆

授(韓国)と日本女史者鈴木素子(二二)録のほか、九一年中小説、関係論文の抜粋を載、関係点の所在を記とさせていく構成だ。

史研究は、五十年を経
た、五十歳を過ぎた
の調子で、冷静にさ
す必要が生じ、い
うことだと云
ふ。『この動き
とむに二度
い』という不
けていかな
考えている」と
資料集は全四
冊。同会は電話
十五三二五、林

て、まろやく
争を考えよう
まれてきたと
「おろ」と朴さ
を、私たち
と戦争をしな
の真いつな
はならないと
話していた。
十八時、三百
〇六一四六一
さん方。

www.elsevier.com/locate/jmb

れた宮内省の訪韓を控えて、この問題を契機に反日感情が強まることを懸念してあり、日本政府は対応を迫られている。

韓国国会の外務統一委員会は十三日、従軍慰安婦問題について初めて関係者の証言を聞く予定だ。

朝日12・14

戦地輸送に船舶を提供

02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12

了。第二、大戦東南アジア地域心理戦密告公報第二巻に収録され、一九四四年八月九日に、当時の米軍心理戦チームが、てい身談

韓国在住の元てい隊女
件三人が今月六日、日本政
府を相手取り、東京地裁に
補填請求訴訟を初めて起こ
したのに対し、加藤官房長

1000-0000/01/0000-0000\$05.00/0

■ 野田安福の
社会党の
委員長、竹村
は十六日、
官房長官に
軍服安福閣
府に對して
具體的な製
金銭的補償
への賠償額

ら陳述
それ
①朝鮮
に許可
に船舶
つた②
了駐屯
隊員へ
提供を

を以て作成した。によると、日本軍は、
 でのてい身隊員募集
 を与えた(部隊員輸送
 を提供して便宜を図
 ビルマナミ東アジ
 日本軍司令部あてに
 の交通、食糧、衣料
 備ふる通行証を急給
 要する事案列、香
 港に於て、

「従軍慰安婦が日本軍の
 管理下にあった」という米
 軍の報告書が見つかったの
 は初めてではなく、十一月
 下旬には終戦直後沖繩に駐
 留していた米軍が、一九四
 五年十二月二日(平成七
 年十二月二日)に、

12・22

朝日
12
・
17

従軍慰安婦問題も懸案に

「ソウル二十四日」黒田勝弘

「ソウル二十四日」黒田勝弘 宮内省の韓国訪問日程が二十四日、来月一月十六日から十八日までとなる。韓国では正式に発表されたが、韓国では訪韓を前に戦時中の韓国人従軍慰安婦の実態調査や補償問題が新たな懸案として浮上し、テレビなど新聞などマスコミでは「日本帝国主義の宿行」としてキャンペーン的に大きく取り上げている。このため韓国政府も国内世論として無視できない状況にあり、宮内省相訪韓の際、あらためて実態究明を日本側に求めることになりそうだ。

産経12・25

朝鮮人従軍慰安婦問題

政府の調査が難航

終戦時に首相訪韓控え苦慮 記録廃棄

政府は韓国政府の申し入れで、戦時中の朝鮮人慰安婦問題への調査の難航を訴えている。戦時中の朝鮮人慰安婦問題への調査の難航を訴えている。戦時中の朝鮮人慰安婦問題への調査の難航を訴えている。

自衛隊の動きが、この長官は、日外務省、朝鮮は、首相訪韓時に、六月には、慰安婦三人が、補償請求書を提出し、韓国政府に提出した。韓国政府は、調査を要求しているのに、調査を拒否している。調査を拒否している。調査を拒否している。

北海道12・31



「語りなうち」 戦さ47年目の風景

浦添市仲間の慰安所 人慰安婦が日人

自衛隊の動きが、この長官は、日外務省、朝鮮は、首相訪韓時に、六月には、慰安婦三人が、補償請求書を提出し、韓国政府に提出した。韓国政府は、調査を要求しているのに、調査を拒否している。調査を拒否している。調査を拒否している。

「語りなうち」 戦さ47年目の風景

日本政府は 自主対応を 慰安婦問題で韓国

「ソウル23日共同記者」 韓国の市川四・公報局長官は、二十三日、ソウル駐在日米記者団と会談し、日朝鮮人従軍慰安婦問題で「昨午五月の盧金湯大統領訪日

で、過去の両国問題は歴史と事実の前に謙虚に取り組むとしたことに留意すべきだ」と述べ、来月一月の宮内省相訪韓の際、日本側が何らかの自主的対応を取ることを望ましいとの立場を示唆した。

北海道12・24

ポンギさんの遺志確かに

元韓国従軍慰安婦の訴訟支援集会



を強いられた。兵隊の中には、慰安所を「共同生活」と呼ぶ者もいた。朝鮮半島の民間人につくられた慰安所には、朝鮮人慰安婦十一人、日本人慰安婦一人がいた。慰安所は、石部駅と津田駅の間、が、交差点のそばで、やがて来る列車を待たせていた。文・石川真生、文・田村真生

本報戦争中、朝鮮から神岡に連行された元従軍慰安婦・ポンギさん（仮名）が十月、那須市内で亡くなった。その遺志を継ぐように、元従軍慰安婦女性三人を含む韓国の元軍人ら十五人が、日本政府に補償を求める訴訟を提起した。裁判を受けたポンギさんを追悼する集会がこのほど都内で開かれた。ポンギさんの半生を取材・記録したノンフィクション作家の川田文子さんが追悼の言葉を述べた。開戦五十年、従軍慰安婦問題に取り組み続ける女性たちの動きは、さらに広がりそう。

「赤瓦の家」 川田さん追悼

「私はポンギさんに、ポンギさんは、一九四四年の四月、三十三歳の時に神岡に連れてこられ、同じ朝鮮人女性八人と戦時慰安所の建物でポンギさんのことを慰安所に入れられた。それを知ってから何度も神岡に足を運び、十年がかりで、故人の日本兵の相手をした女の半生をつづいた『赤瓦の家』に米軍が上陸、五か月間、（がわ）の家を出版した。



ポンギさんを追悼する川田さん

追悼する集会がこのほど都内で開かれた。ポンギさんの半生を取材・記録したノンフィクション作家の川田文子さんが追悼の言葉を述べた。開戦五十年、従軍慰安婦問題に取り組み続ける女性たちの動きは、さらに広がりそう。

従軍慰安婦の真実明らかに

あす大阪で集会

韓国の元従軍慰安婦らが日本政府を相手として補償を求める裁判を提起したことで、従軍慰安婦問題への関心が高まっているが、十四日午後六時から大阪・市立中央図書館で「追悼 日本戦後責任を問う」と題し、元従軍慰安婦問題の真実を明らかにするついでに、開か

追悼する集会がこのほど都内で開かれた。ポンギさんの半生を取材・記録したノンフィクション作家の川田文子さんが追悼の言葉を述べた。開戦五十年、従軍慰安婦問題に取り組み続ける女性たちの動きは、さらに広がりそう。

ファシズムが性差別を拡大

十一月末、PKO法案強行採決のシーンがテレビに映し出された。PKOは日本船に誤射被害者を出した。動、名称とはほど遠い乱闘を見ていたうちに怒りとともに涙がにじんできた。過去の歴史からいささかの教訓をもち出し得ぬ人々が、かくも大勢いるという事実が身にこたえたからである。

開戦50周年と私たち



吉武 輝子

折しも今年はいま開戦五十周年、さらに満州事変六十周年という歴史的にも大きな意味を持つ年に当たっている。かつて日本は、世界の国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

く、多くの国々を戦争に巻き込み、多くの人々を死へと追いやった。ことにアジアの国々に対する侵略は目を覆うものがあり、どれほど多

局で八日、フォーラム朝鮮人「従軍慰安婦」から現代ニッポンを照らす」が開かれ、研究者らが従軍慰安婦問題は過去の問題ではないと語った。

フォーラムを主催したのは、今後の日本と世界のあり方を考える「フォーラム008」（事務局長・堀川忍・大田助手）。

在日二世で「朝鮮人従軍慰安婦」をテーマにした、今までの私たちが何となくわかっていない。『外国人労働者問題』は日本人の問題ととらえ直す必要がある」と語った。近畿大講師の大

谷愛子さんは「今もアジアなどで企業戦士が風俗産業に迫り、新しい性でよその国を不幸にし続けている。韓国は、変わっていない」と語った。

う痛恨の思いがあらゆる暴力を否定し、平和と平等を根づかせる新しい女の反戦運動をつくり出すことになったと言っている。

つ向から「F」の意思を表し、平和を求めてきた。日本は、アジアの国々に対して、誠意をもつて戦後補償に取り組みを促す。歴史の年にも、二度と同じく繰り返り過ぎぬと明確に表明するためにも、戦後補償の問題に真摯（しんし）に取り組みすべきではないか。これが真の国際貢献である。私たちは附いているからである。それにもかかわらず、まるでアジアの人々の顔を逆なでするような「自衛隊派兵法」に等しい法案の強行採決。だが私たちは決してあきらめはしない。この年を新たな平和運動のスタートの年と位置づけているのだから。（評論家、「戦争への道を許さない私たちの連絡会」会員）

毎日12・18

毎日12・11